

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(1/6)

2026年2月20日
 日本原子力発電株式会社

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所		
37	241119-13	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の不具合事象)	36	2024/11/19	地盤改良による周辺施設・設備への影響評価の結果について示すこと。	-		
41	250220-2	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	25	2025/2/20	セメント系、薬注系の地盤改良に対する室内配合試験の結果から妥当性を説明すること。	-		
65	250228-24	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	84	2025/2/28	地盤改良(薬液注入)のシリカ含有率の設定方法について、設工認の中で具体的に説明すること。(STEP4で)	-		
68	250228-27	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	65	2025/2/28	鋼管杭を打設する際のネガティブフリクション対策、および設計上の支持力の考慮について補足説明資料に反映すること。	-		
69	250228-28	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	83	2025/2/28	粘性土の中にレンズ状に共存している砂質土層に対し、地盤改良がもれなく施工される理由について補足説明資料に示すこと。	-		
71	250228-30	別途回答	東二設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	70	2025/2/28	今回の流動化処理土は、廃材ではなく品質管理がしっかりされた製品を購入する計画でよいか。また、配合試験に基づく仕様を補足説明資料に明記すること。	-		
90	250722-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	9	2025/7/22	地盤改良の品質確認方法について、準拠する基準を明確にするとともに、準拠基準にしたがった試験位置、試験数量、品質確認方法等で、品質が確保できることを説明すること。	-		
91	250722-2	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	9	2025/7/22	北基礎の中実鉄筋コンクリートについて、根入れの考え方(準拠基準等)を整理すること。 (10/14追加確認事項)水平支持力について、別途説明すること。	-		
96	250722-7	回答済	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	11	2025/7/22	巻立コンクリートについて、杭間の縁切り材(10mm)の仕様を示した上で、仮想ケーソンとして考慮できるとした考え方及び杭間ばねの考え方を説明すること。	2025/10/14 (2025/8/26)	目地材の幅が10mmと極めて小さいこと、巻立て鉄筋コンクリートは直上の頂版鉄筋コンクリートにより拘束されており、杭間の変形は極めて小さいと考えられること等から、杭間要素の影響は顕著でなく、現状のモデル化は妥当である旨記載した。	資料2:P19 (10/14)補足説明資料に仮想ケーソンの扱いを詳細に記載すること。
98	250722-9	回答済	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	19	2025/7/22	一次元地盤応答解析を用いて算定する津波+余震重畳時の荷重及び変位について、解析モデル、算定方法を補足説明資料に記載して説明すること。また、上部工の余震時荷重(慣性力、動水圧)について、一次元地盤応答解析の地表面の加速度を用いて算定していることを追記して説明すること。	2025/10/14 (2025/8/26)	余震による一次元地盤応答解析の土中モデルと解析結果で得られた地表面応答加速度、地盤剛性及び強度、地盤変位に基づき、三次元フレーム解析における設計震度、地盤バネ係数及び上限値、応答変位を設定する旨を明記した。	資料2:P24, P34~P36 (10/14)補足説明資料に時刻の選定の考え方を記載すること。
104	250722-15	回答済	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	30	2025/7/22	「有効応力の変化に伴う構造物の周辺摩擦力の変化は、有効応力の関数である地盤の剛性及び強度の変化によって自動的に考慮される」とした記載について、構造物の具体的な施設及び周辺摩擦力の具体的な内容を明確にした上で、記載を平易な表現に見直すこと。	2025/10/14 (2025/8/26)	せん断方向の応力上限値は、ジョイント要素の面直応力(有効応力)と原地盤の強度特性により、解析上自動的に決定すると平易な表現に見直した。	資料2:P40, P43 (10/14)補足説明資料では記載を充実化すること。
113	250805-6	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	113	2025/8/5	断面力図のT.P.-50m付近に大きな曲げモーメント等が発生している要因を確認して説明すること。	-	-	-
114	250805-7	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	18	2025/8/5	耐震モデルと耐津波モデルのモデル間の整合性について説明すること(荷重条件を合わせた場合、同様の挙動を示すこと等)。	-	-	-
121	250805-14	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	全般	2025/8/5	断面検定における約合鉄筋比に関する確認結果、ヤング係数比の考え方を適用基準等を用いて説明すること。 (10/14追加確認事項)N=15を採用している経緯を説明すること。	-	-	-
138	250807-8	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	25	2025/8/7	FLIPIについて、重ね合わせ要素の適用が既工認と異なるため、適用性を先行実績も踏まえて資料化して説明すること。	-	-	-
141	250807-11	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	-	2025/8/7	巻立てコンクリートと鋼管杭の一体化の確保について、構造を示したうえで考え方を補足説明資料に記載すること。	-	-	-
146	250826-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	21	2025/8/26	本震後の地盤の剛性低下を耐津波設計時の地盤バネ2に考慮しているが、本震基準地震動Ssによる収束剛性値と静弾性係数による剛性の関係を確認しておくこと。	-	-	-

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(2/6)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
151	250826-6	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	46	2025/8/26	「鉄筋の腐食」について補足情報を追加すること(資料2に追加)。	-	
154	250826-9	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	36	2025/8/26	中実RCの17段筋や頂版RCのSD685の定着についてSTEP4にて詳細を説明すること。	-	
161	250909-4	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	11	2025/9/9	SD685の配筋についてコンクリートの表面との距離が小さく、水平方向のコーン破壊的なことが発生しないか確認すること。	-	
162	250909-5	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	11	2025/9/9	杭頭結合部の評価として、一般的な照査項目についても照査すること。	-	
165	250909-8	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	39	2025/9/9	補足説明資料に記載する耐震設計の解析モデルについては、本図に加えて前回資料のような詳細なモデル化の資料を掲載すること。	-	
169	250909-12	別途回答	資料2 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)【補足説明資料】	73	2025/9/9	単杭とケーソン基礎の算定式を追記すること。	-	
172	251014-1	別途回答	資料1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	19	2025/10/14	(コメント98関連)耐津波設計において、上部工の慣性力を一次元地盤応答解析の地表面加速度から設定している点について、補足説明すること。	-	
192	251105-4	別途回答	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	11	2025/11/5	SD685鉄筋の引き抜き試験の内容と結果について、今後説明すること。	-	
196	251105-8	別途回答	資料1-1 東海第二発電所 設計及び工事計画に係る説明資料(防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更)	16	2025/11/5	頂版鉄筋コンクリートで用いるSD685鉄筋のひずみについては、地震の主方向と津波の方向が方向に揃ったケースの結果についても今後説明すること。	-	
254	260121-1	今回回答	東海第二発電所 設計及び工事計画に係る補足説明資料 第5回申請 補足説明資料29(防潮堤(鋼製防護壁)の周辺施設への影響に関する補足説明)12/22提出版	4	2026/1/21	影響検討について、周辺施設の設計上既に考慮されている地盤改良体と防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更により追加される地盤改良体があることを明記した上で、「なぜ、追加地盤改良体が施設に及ぼす影響を検討するのか」という話を整理すること。	「1.1 はじめに」に追加地盤改良体の反映イメージ図を追記した。また、影響評価の目的を明確に記載する中で影響検討の必要性についての記載を加筆した。	p1-2
255	260121-2	今回回答		4	2026/1/21	施設の強度評価において「追加地盤改良体を反映しない現状の設定が設計上保守的であると考えるところの説明を補足しつつ、一方で施設の耐震評価に対しては影響検討を実施することに対し、例えば地震応答における短周期側への影響など具体例を挙げて補足説明すること。	「1.1 はじめに」で耐震評価における影響検討の必要性を「短周期」というキーワードと共に記載した。また、強度評価(耐津波)においては、追加地盤改良体が受動側地盤バネに対しどのように寄与するのかを図により補足説明した。	p1-2 p1-6
256	260121-3	今回回答		7	2026/1/21	耐震評価で実施する地盤のばらつきケースとその中で地盤改良体(セメント、薬液注入)がどうモデル化されるのかを具体的に示した上で、各解析ケースが対象構造物に対しどのような位置付けの評価になるのかをわかりやすく説明すること(P51の参考図1-3 耐震評価で実施する地盤ケースに地盤改良等を追記する等し、一覧表でわかりやすく表記すること)。	地盤ケース①~⑥に対して、追加地盤改良体(セメント、薬液注入)がどのような物性値にてモデル化されるのかを図にて分かり易く説明した。	p1-8
257	260121-4	今回回答		9	2026/1/21	影響検討ケースの選定において、改良範囲が左右対称の構造物に対しては地盤ケース①でのみ評価を実施するというところのロジックを再整理すること。地盤改良体による各評価への感度を確認するという主旨も理解できるが、一方で最大照査値をしっかりと確認するという点も重要になるため、この点も踏まえて検討ケースに係る説明を補足すること。	影響評価を「影響程度の確認」と「最大値の検討」に分けて段階的に実施することで、追加地盤改良体の影響程度を確認すると共に、各構造部材の最大照査値の変動についてもしっかりと確認できるようロジックを再整理した。	p1-5
258	260121-5	今回回答		9	2026/1/21	資料全体の構成として、どのような考えで検討ケースを選定しているのかなど、わかりやすくする工夫を検討すること(P9とP57の関係等)。	影響検討ケースの選定フローに沿った選定手順と考え方について文章で補足した。	p1-11, 13
259	260121-6	今回回答		10	2026/1/21	図1.2-5影響検討ケースの選定フローの地震動の選定根拠において、地盤ケースの記載は不要であることから削除すること。	設備の選定フローについて記載を適正化した。	p1-14
260	260121-7	今回回答		11	2026/1/21	1.2.3 影響検討モデルのモデル化方針で「近傍構造物」の定義を追記すること。	「近傍構造物」から「隣接構造物」に記載を適正化した。隣接構造物は評価対象構造物の解析断面に含まれる他の重要施設を意味している。	p1-7
261	260121-8	今回回答		13	2026/1/21	近傍構造物の影響(相互作用)を実施しないことについて、冒頭の基本方針における文章を記載拡充すること。その上での追加地盤改良体による影響検討である旨が分かるように記載を工夫すること。	評価断面に隣接構造物が含まれる地質断面図の注釈として、当該隣接構造物の影響(相互作用)を考慮しないことを加筆した。	p3-3, 4 p5-3, 4
262	260121-9	今回回答		15	2026/1/21	表2.2-1検討ケースの選定に示された影響検討ケースの選定結果について、選定フロー(図1.2-4影響検討ケースの選定フロー(施設の耐震評価)、図1.2-5影響検討ケースの選定フロー(設備の耐震評価))のどのルートを通った結果なのか説明すること。	選定フローのどのルートを通っているのかが確認できるよう、検討ケース選定結果一覧表の下に、図を追加した。また、参考2(影響検討ケースの選定)にも水平展開した。	p2-9, 18, 29 p3-11, 22, 28 p4-8, 15 p5-9 参考2全体

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(3/6)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
263	260121-10	今回回答	15	2026/1/21	表2.2-1検討ケースの選定の整理は「施設」と「設備」で分けることを検討すること。	2026/2/20	検討ケース選定結果一覧表を「施設」と「設備」で分けて記載した。また、参考2(影響検討ケースの選定)にも水平展開した。	p2-9, 18, 29 p3-11, 22, 28 p4-8, 15 p5-9 参考2-33
264	260121-11	今回回答	15	2026/1/21	施設側の検討ケース選定の考え方について、地盤改良体による影響検討として照査や応答の感度を確保するために地盤ケース①(基本ケース)を採用したということは概ね理解できたが、一方でやはり最大照査値に関する検討も追加した方がいい。例えば、変動比率などを用いて間接的に最大照査値を求める方法もあると思うので検討すること。	2026/2/20	(コメントNo. 257の回答と同様)	p1-5
265	260121-12	今回回答	21	2026/1/21	鋼管杭の最大照査値発生位置(深度方向)を明らかにし、照査値が大きくなっている原因について地盤改良体の影響も踏まえ考察を加えること。	2026/2/20	鋼管杭の影響検討結果に対しては、最大照査値発生箇所を示した。(他施設の資料にも水平展開)最大照査値発生箇所は既工認と同様であり、照査値が僅かに増えた理由としては、セメント改良体による振動影響等が挙げられると考察する。	p2-12, 13 p3-14~16 p4-9 p5-10, 11
266	260121-13	今回回答	57	2026/1/21	参考2の照査値一覧表は既工認の評価結果を示したものであるが、今回実施した評価結果と誤読するので記載を工夫すること。また、検討ケース選定の根拠が既工認の照査値であることがわかるように記載すること。	2026/2/20	参考2(影響検討ケースの選定)の照査値一覧表について、表タイトルに「既工認時の照査値」と明記した。	参考2全体
267	260126-1	今回回答	3	2026/1/26	「はじめに」で、今回の影響検討の目的を明確に記載したうえで、必要な評価範囲を後続章で整理する形にするなど、資料構成を工夫すること(「はじめに」は、影響評価を実施する必要性を判断するまでの記載で留めておくのがよい)。	2026/2/20	(コメントNo. 254の回答と同様)「はじめに」は実施目的のみ簡潔に記載する方針とした。	p1-2
268	260126-2	今回回答	4	2026/1/26	「b. 設備の強度評価」の津波荷重に対する評価の必要性についてわかりやすく記載すること。	2026/2/20	設備の強度評価に対する影響検討を実施しなくてよい理由を適正化した。	p1-7
269	260126-3	今回回答	9	2026/1/26	施設の耐震検討ケースの選定フロー(図1.2-4)について、既工認時の評価結果を用いることについてわかるよう適正化すること。	2026/2/20	影響検討ケース選定の根拠となる照査値は既工認時の照査値であることが分かるように文章を追加した。	p1-11, 13
270	260126-4	今回回答	16	2026/1/26	地盤改良体の物性値は、既工認の考え方が適用できるかを踏まえた上で、変更申請書類の資料番号を参照する記載とすること。また、添付書類「地盤の支持性能に係る基本方針」に倣うのではなく、引用する等記載の適正化をすること。	2026/2/20	追加地盤改良体の地盤物性については、既工認ではなく、今回申請の添付書類「地盤の支持性能の基本方針」を読み込むよう適正化した。また、「倣う」を「引用する」に適正化した。	p2-5 p3-5 p4-5 p5-5
271	260126-5	今回回答	23	2026/1/26	機器・配管系に対する影響検討で今回新たに評価した地盤ケースは④のみであり、既工認の地盤ケース⑤の結果を比較していることがわかるように記載すること。	2026/2/20	追加地盤改良体が薬液注入のみである場合、比較対象としている地盤ケース⑤は「既工認」の値であることが分かるように、記載を適正化した。	p2-19 p3-23, 29 p4-16
272	260126-6	今回回答	—	2026/1/26	施設側の評価に用いる地盤ケースについては、既工認で最も厳しい地盤ケースの照査値が確認できるよう記載を適正化すること(設備側は「最も硬い地盤が厳しくなる」という思想に基づきケース選定が明確である一方、施設側はその点が分かりにくく、ケース設定の合理性・一貫性に課題があるように感じる)。	2026/2/20	(コメントNo. 257の回答と同様)	p1-5
273	260126-7	今回回答	57	2026/1/26	参考2(周辺施設の影響検討における影響検討ケースの選定)において、選定根拠とする数値は既工認のものであることを明記した上で、既工認におけるばらつきケース選定の基本的な考え方を箇条書きで記載すること。	2026/2/20	影響検討ケース選定の根拠となる照査値は既工認時の照査値であることが分かるように文章を追加するとともに、参考2(影響検討ケースの選定)の冒頭に、既工認における検討ケース選定の考え方を補足説明した。	参考2全体 参考2-1, 2
274	260126-8	今回回答	57	2026/1/26	既工認の最大照査値が飛び地のマス(他検討ケース)にあるものについても、今回の評価の対象とすることを記載すること(比率による推定評価を行う等)。	2026/2/20	既工認における最大照査値ケース(飛び地ケース)においても、「影響程度の確認」による増加率により、最大照査値として包絡して評価できるようなロジックを採用した。	p1-5
275	260126-9	今回回答	4	2026/1/26	防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)の施設評価における代表断面として③・④断面ではなく、①・②断面を選定した理由について、既工認での記載を踏襲し補足説明すること。	2026/2/20	防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)における既工認時の断面選定の考え方を加筆した。	p3-2
276	260126-10	今回回答	4	2026/1/26	平面位置図に出口集水桝の位置を表示すること(可能であれば設備の位置も表示すること)。	2026/2/20	各施設の平面図に評価対象施設と設備を追記した。(他施設の資料にも水平展開)	p2-2 p3-2 p4-2 p5-2
277	260126-11	今回回答	7	2026/1/26	防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)の影響検討ケースで、選定の詳細の参照先の記載「参考1」を適正化すること。	2026/2/20	「参考1」を「参考2」に適正化した。(他施設の資料にも水平展開)	p3-10 p4-7 p5-8

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(4/6)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
278	260126-12	今回回答	7	2026/1/26	表3.2-1 検討ケースの選定結果におけるグレーハッチング(検討対象外)の理由を具体的に記載すること。	2026/2/20	検討ケースの選定結果におけるグレーハッチングに対しては、除外理由が分かるように記載を追加した。	p2-9, 18, 29 p3-11, 22, 28 p4-8, 15 p5-9 参考2-33
279	260126-13	今回回答	7	2026/1/26	表3.2-1の出口側集水槽(施設)の評価について、追加地盤改良範囲が概ね対象であるにも関わらず、地盤ケース④が影響検討ケースとして選定されている理由を説明すること。	2026/2/20	出口側集水槽及び屋外二重管(管体)については、既工認の耐震評価におけるケース選定の考え方が異なるため、他の施設とは差別化した上で、「参考資料」にて影響検討ケースの選定方針を明記することとした。	p1-9 参考3, 参考4
280	260126-14	今回回答	14	2026/1/26	表3.4-1 二次元静的フレーム解析に入力する設計震度を影響検討における比較対象としている件について、このやり方のプロセスを段階毎に記載し解説すること。	2026/2/20	全施設に対し、「最大値の検討」として、防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)の上部工と同様の評価を実施する方針としたことから、この内容については、「1.3 影響検討の基本方針」にて検討手順を明記することとした。	p1-5, 15
281	260126-15	今回回答	16, 70	2026/1/26	照査値について、ページ間の不整合がみられるため確認し適正化すること(切り上げ標記が正)。	2026/2/20	既工認の照査値について、記載を適正化した。	p3-14 (表3.3-3(2)) p3-16 (表3.3-5(1))
282	260126-16	今回回答	18	2026/1/26	表3.4-7の照査値(変位置)について、既工認の耐震計算書に記載の照査ケースは、今回実施のSs-31(H+, V+)/地盤ケース③だけなのか、あるいは他の検討ケースの結果も含めて変位置をとりまとめているのか、評価状況が分かるように補足すること。	2026/2/20	既工認の耐震計算書における最大変位置は1.887mであり、地盤ケース④での3成分合成変位である旨を注記に追記した。	p3-17
283	260206-1	今回回答	21	2026/2/6	「3.6 津波防護施設(防潮扉、構内排水路逆流防止設備)に対する影響検討結果」のタイトルのトーンが他の章と異なるので他との整合を検討すること。	2026/2/20	全資料「施設に対する影響検討結果」及び「設備に対する影響検討結果」なるようタイトルを統一した。(他施設の資料にも水平展開)	p2-8, 17 p3-10, 21 p4-7, 14 p5-8
284	260206-2	今回回答	29	2026/2/6	屋外二重管の地質断面図に取水構造物を記載する等、平面位置との対応が取れるよう検討すること。	2026/2/20	地質断面図に取水構造物の設置範囲を加筆した。	p4-3
285	260206-3	今回回答	38	2026/2/6	地震動選定の流れについて、フロー図の流れに沿った説明に記載を充実すること(フローチャートを用いて、経路を加筆することも検討すること)。	2026/2/20	(コメントNo. 262の回答と同様)	p2-9, 18, 29 p3-11, 22, 28 p4-8, 15 p5-9 参考2全体
286	260206-4	今回回答	43	2026/2/6	「図5.1-2(2), (3) 貯留堰及び地盤改良体の断面位置」の護岸部のセメント系地盤改良体のハッチングの適正化(凡例の追加含む)を行うこと。	2026/2/20	当初のハッチングの色分けは、地盤改良体の施工時期の違いを表現するものであることを確認したが、設計上は同一の地盤材料であるため同一のハッチングとする方針とした。	p5-3, 4
287	260206-5	今回回答	45	2026/2/6	「表5.2-1 検討ケースの選定結果」の地盤ケース⑤, ⑥の除外理由として「薬液注入のみ」だと理由がよくわからないので、記載の見直しを検討すること。	2026/2/20	(コメントNo. 278の回答と同様)	p2-9, 18, 29 p3-11, 22, 28 p4-8, 15 p5-9 参考2-33
288	260206-6	今回回答	45	2026/2/6	「表5.2-1 検討ケースの選定結果」で記載されている「鋼部材」がどういふものか分かるように記載の見直しを検討すること。	2026/2/20	鋼部材の照査が分かるよう、()にてその内訳を追記した。	p5-8
289	260206-7	今回回答	50	2026/2/6	地盤改良の影響を考慮し、再評価した結果を説明すること(その結果として、たまたま既工認の値であっても、再評価は再評価のため、そのことがわかるようにすること)。	2026/2/20	貯留堰の変形性に対しても、他の評価項目と同様に「影響程度の確認」を実施し、増加率が1を超える場合は、増加率×既工認時の最大値により推定最大値を算出する方針とした。	p5-12, 15
290	260206-8	今回回答	50	2026/2/6	「表5.4-4 構造物の変形性に対する評価結果比較」の評価内容について、わかりやすい解説を加筆すること(表自体もわかりにくい)。	2026/2/20	変位置とりまとめ表の構成を適正化し、影響検討結果である合成変位置算出の考え方が分かるように配慮した。また、止水ジョイントの初期状態図を追加することで、表の数値に関する補足を加えた。	p5-12, 13
291	260206-9	別途回答	50	2026/2/6	「表5.4-4 構造物の変形性に対する評価結果比較」において、z方向の変位置が増えた理由を考察すること。	-	-	-
292	260206-10	今回回答	52	2026/2/6	「表5.5-3 構造物の変形性に対する評価結果」で掲載されている変位置が何の値なのか(相対変位なのか絶対変位なのか)再説明すること。また、変形による評価として、何を評価しているのかを記載すること(評価結果も加筆すること)。	2026/2/20	各変位置の定義(相対値なのか絶対値なのか)を明確にするとともに、何を評価するための変位置なのかを明記した。	p5-13
293	260206-11	今回回答	54	2026/2/6	「6.2 設備の耐震評価への影響」の「同等、または下回っていることから」の「同等」の記載の適正化を検討すること。	2026/2/20	記載を適正化した。	p6-2

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(5/6)

■ : 今回回答 □ : 別途回答 ■ : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所	
294	260206-12	今回回答	68	2026/2/6	地盤ケース⑤、⑥は「既工認と同じ結果になるので」を加筆すること。また、検討ケースの記載が理解しにくい(一見では理解できない)ので、再考すること。	2026/2/20	(コメントNo. 278の回答と同様)	p2-9, 18, 29 p3-11, 22, 28 p4-8, 15 p5-9 参考2-33
295	260206-13	今回回答	68	2026/2/6	「2.1 施設の耐震評価」の「なお書き」の文章でどの断面の何を評価しているのかわかるように記載を充実させること。	2026/2/20	防潮堤(鉄筋コンクリート防潮壁)の上部工や、出口側集水枡について、どの解析断面の応答加速度を用いて、どのような評価を実施しているのかわかるように記載を拡充した。	3-12 参考3-1
296	260206-14	今回回答	全般	2026/2/6	文中で、「なお、」や「しかし」はあまり使わないようにすること。	2026/2/20	「なお」等の接続詞を極力排除し、分かり易く文章構成を見直した。	資料全体
297	260206-15	今回回答	全般	2026/2/6	地盤条件⑤、⑥の扱いが分かりにくいので、考え方の説明の見直しを検討すること。	2026/2/20	(コメントNo. 289の回答と同様)	p5-12, 15
298	260213-1	別途回答	全体	2026/2/13	各検査項目について、「事業者の自主的なもの」と“規制庁が確認するもの”に分けた上で、検査内容や方法を一覧表にして説明すること(不具合事項を踏まえて追加すべき項目は追加しても可)。	-	-	-
299	260213-2	別途回答	4	2026/2/13	不具合を繰り返さないための取り組みとして、「試験施工(地盤改良やモックアップ)」などのキーワードを基本方針に記載することを検討すること。	-	-	-
300	260213-3	別途回答	12	2026/2/13	鋼管杭の先端(切削ビットによる杭周りの空隙)にはグラウト充填する旨を追記すること。	-	-	-
301	260213-4	別途回答	52	2026/2/13	特に接合部(上部工と下部工の接合箇所を指す)の施工プロセスを3次元等分り易く表記した上で、施工プロセス毎の検査内容を整理して章を独立させるなどして記載すること。特に中詰め鉄筋コンクリートの施工について構造がわかるよう記載すること。	-	-	-
302	260213-5	別途回答	53	2026/2/13	鋼製防護壁と鉄筋コンクリート防潮壁との境界に設置する止水シートについて、鋼製防護壁側はどのように接続するのか説明すること。	-	-	-
303	260213-6	別途回答	56	2026/2/13	不飽和地盤(地下水位以浅)を地盤改良(薬液注入)ではなく地盤改良(セメント系)とすることについて、設計への波及影響を説明すること。補足説明資料29に係る話でもあるため、先行サイトの事例も踏まえ周辺施設の基礎に影響がないことを示すこと。	-	-	-
304	260213-7	別途回答	61	2026/2/13	既施工分の地盤改良(薬液注入)についての考え方(管理基準値、新設との整合性)について説明すること。	-	-	-
305	260213-8	別途回答	-	2026/2/13	薄層部の地層に係る地盤改良の検査方法を明記すること。	-	-	-
306	260213-9	別途回答	68	2026/2/13	中詰め鉄筋コンクリートの鉄筋の設置精度の記載(誤差±10mm、精度±5mm)については、隔壁との干渉もあり非常に厳しい施工精度が求められることを考慮して、施工精度として現実的なレベルになっているか説明すること。	-	-	-
307	260213-10	別途回答	81	2026/2/13	審査会合で発言のあったカメラによる定点観測について、具体的に何を実施するのか資料中に記載すること。	-	-	-
308	260213-11	別途回答	83	2026/2/13	表「他鉄筋コンクリートへの適用性」の中実RC構築の確認結果が“-”となっており解釈に誤解を与える可能性があるため、記載を工夫すること。	-	-	-
309	260213-12	別途回答	86	2026/2/13	構造細目を満たすための配筋であることが分かるように記載すること。	-	-	-
310	260213-13	別途回答	87	2026/2/13	“継手指針”の正式名称及び引用する年代を記載すること。	-	-	-
311	260213-14	別途回答	120	2026/2/13	表「地盤改良(薬液注入)の適用性、改良品質の不確かさの要因の抽出結果(その1)」の一次評価の結果において検討不要と表示しているグレーハッチング箇所については、何を根拠として検討不要と判断しているのか、記載を充実すること。	-	-	-
312	260213-15	別途回答	121	2026/2/13	“施工順序”に係る不確かさ要因について再検討すること。地中連続壁部では施工途中で400日程度工事を止めていたことなども悪影響があったと認識している。この件も踏まえ再検討して欲しい。	-	-	-
313	260213-16	別途回答	123	2026/2/13	表の呼び込みがエラー表示となっているため修正すること。	-	-	-
314	260213-17	別途回答	124	2026/2/13	地盤(粒度等)に係る浸透注入工法の適用条件の記載について、適用条件と不適用条件が混在しているため、書き分けて説明すること。	-	-	-

東海第二発電所 設計及び工事計画認可申請書 ヒアリング確認事項整理表
 【防潮堤(鋼製防護壁)の構造変更】(抜粋版)(6/6)

: 今回回答
 : 別途回答
 : 回答済

管理番号	対応状況	説明資料	頁	確認事項	回答日	回答内容	反映箇所
315	260213-18	別途回答	126	2026/2/13	結束細管多点注入工法であれば、改良対象土層の性質に対して問題ないと判断している点について補足説明すること(例:どのような地層だから必要注入圧からこの工法を採用など)。	-	-
316	260213-19	別途回答	138	2026/2/13	液状化強度比RL20の20回という指標はいろんな規格基準で見る値ではあるが、妥当性について解説すること。	-	-
317	260213-20	別途回答	139	2026/2/13	地盤改良(薬液注入)における配合設計の最大せん断応力比から薬液濃度の仕様を決定するプロセスについて、誰にでも分かるように概念図を作成すること(有効応力解析結果から最大せん断応力比の抽出→原地盤の液状化強度比の確認→不足分の液状化強度比を補うための薬液注入仕様の決定)。	-	-